

# おち町

No.116

議会だより OCHI TOWN

2016 (H28) 5/1  
高知県越知町議会



**勉強が楽しみです**

小学校入学式4/7(17面に関連記事)

## 3月定例会

2P **地方創生政策提言を協議**

8P **平成28年度一般会計40億3628万円**

22P **地方創生、町長の政治姿勢** など7人が問う（一般質問）



表紙写真にスマホやタブレットをかざすと、小学校の入学式が「動画」で見られます。詳しくは、19面をご覧ください。

# 政策提言を協議

議会から執行部に対し昨年3月と9月に、「越知町版まち・ひと・しごと創生総合戦略」の政策提言を行った。

1月28日には、議会基本条例に基づいて全員協議会を開き、執行部と提言が政策に取り入れられたかを意見交換した。

中山間地域の再生なくして創生はない



政策提言の協議が行われた全員協議会

- 2 **地方創生政策提言を協議**  
【4面～7面に記事】
- 8 3月定例会28年度一般会計7.9%増  
**40億3628万円**
- 10 ことしの事業ピックアップ  
**地域おこし協力隊雇用など**
- 14 どう使う新年度予算（議案質疑）  
**西町商店街活性化拠点  
施設など**
- 16 こんなことが決まったぜよ  
**保健福祉課を新設**
- 18 平成27年度補正予算  
**越知の魅力まるごと発信事業**  
意見書
- 19 **T P P協定の国会批准を  
しないことを求めるなど**
- 20 総務教育委員会レポート  
**町有林の有効活用を**
- 21 産業建設委員会レポート  
**命の道整備**  
一般質問7人が問う
- 22 **地方創生、町長の政治姿勢など**
- 30 追跡! あれはどうなっちゅうが?  
**支障木の伐採事業**
- 31 **広域議会**
- 32 議会ですこんにちは  
**連載:移住者訪問⑦**

# 地方創生

一年後に検証・評価を行う



# こいつやったらどうぶつが10の提言

27年3月提出分

## キャッチフレーズを作れ

町民が誇りに思い、移住者等に強い印象を与えるような「キャッチフレーズ」を作ること。

**回答** 「おち着くライフ」「KOCCHIのなかにOCHIがある」などを検討中。

## 職員の連携体制が重要

事業推進には全職員が横断的に取り組む意識と連携体制を整えることが重要だ。

町長が先頭に立って指導力を発揮すること。

## 政策冊子の作成を

個々の政策内容が詳しく分かる冊子やチラシを作成すること。

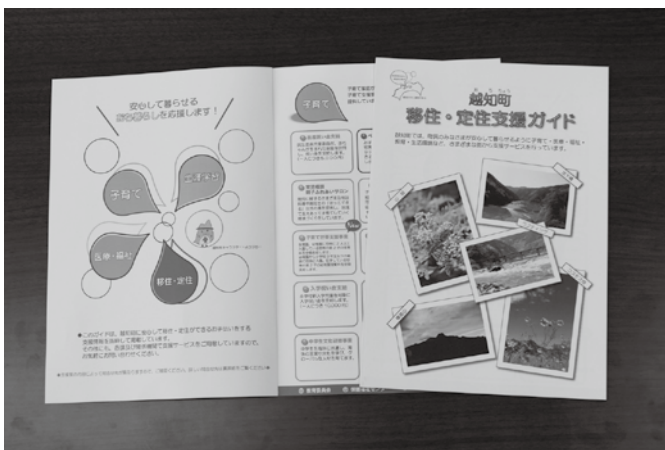
## 作成し全戸配布

**回答** 子育て、医療・福祉、移住・定住、教育など様々なサービスを紹介した「移住・定住支援ガイド」を作成し全戸に配布した。

## 機構改革と職員研修派遣

**回答** 産業建設課を産業課と建設課に分離、産業課と企画課を並べて配置し連携を強化した。

職員のスキルアップのために市町村アカデミー等に研修派遣する。



提言で完成した移住・定住支援ガイド

## 積極的に情報発信を

本町の強みを町内外に積極的に情報発信し、民間活力を生かしたまちづくりに取り組みこと。

## 本町の強みを発信

**回答** おち家グッズ作成、県外へのPR広告事業などを通して、本町の強みを町内外に積極的に発信する。

また、民間活力を生かしたまちづくりができるよう取り組む。

いろいろな種類のよこじろグッズが開発された



町のホームページ充実を

内容や更新を充実させること。

リニューアルする

回答 町外に向けて情報発信するため、27年度中にリニューアルする。

熱意をもってサポートを

移住後も仕事、生活、地域との協力体制など熱意をもってサポートすること。

協力支援する

回答 町ホームページに「越知町お仕事情報のご案内」として、仕事情報を提供している。

移住・定住などのボランティア団体、NPO法人の準備・設立等には、熱意をもって支援する。

納税通知書活用を

固定資産税の納税通知書に、空き家バンク登録への協力依頼文書を同封すること。

空き家情報を把握

回答 固定資産税納付書発送時に、「空き家の情報提供のお願い」「ふるさと寄附金」文書を同封して協力依頼している。今後は、空き家バンク制度についても周知する。

雇い方の改善を

地域おこし協力隊の活動内容や雇い方を改善すること。

業務定めて募集

回答 27年度から業務内容を定めた募集とし、3人の隊員を採用した。

隊員が任期満了後も本町に定住できるよう情報の提供、起業支援策などの構築を図っていく。また、西町の商店街の空き家を隊員の住居として活用し、活性化の拠点施設として整備する。

財源の効率的活用を

事業推進に当たっては、基金や過疎債等を効率的に活用すること。

優良財源確保

回答 地方創生新型交付金や国・県の補助金、過疎債などの優良財源の確保に努める。

先進地の視察を

執行部も島根県の飯南町や邑南町を視察し、政策に生かすこと。

飯南町など視察

回答 10月に副町長と総務課長が「少子化、移住・定住対策」をテーマに飯南町を、1月には、島根県中山間地域研究センターと邑南町を企画課職員が視察した。今後、議会と意見交換を行う。



地域おこし協力隊員が建造した仁淀川の川舟が完成した



企画課職員も邑南町を視察した

# 中山間の再生なくして町の創生はなし

27年9月提出分

## 安定した 雇用の創出

主要産業の農業、持続性と経済効果の可能性がある林業、外貨が稼げる着地型観光などを振興すること。

## 農業後継者を育成

**回答** 後継者やUターンなどの新規就農者は、青年就農交付金制度を、移住者が就農する場合は、県農業担い手育成センターを活用する。

施設園芸導入のための土地確保、高齢農家の経営移譲の確認や県内外の情報収集に取り組み。

## 横畠西部地区の

## かんがい施設

**回答** 農地の中までの配管延長は、補助事業の活用を検討や町の補助制度

を充実させ、農家の負担軽減を図る。

## 農産物の

## 加工・販売

**回答** 県の産業振興計画を活用し、かんきつやサンショウ、カブなどの加工品開発を計画している。ふるさと寄附金の返礼品などをおち産市で扱うことや「地産外商」に取り組み、農家所得の向上と新たな雇用の創出を図る。

## 自伐型林業

## などを研究

**回答** 本町の豊富な森林資源を活用するため、自伐型、副業型、提案型集約化施策等の研究を行い、林業の魅力を創出する。

## 提案型集約化施策

林業を自立した産業にするためには、機械化による労働生産性の向上と路網整備が不可欠であり、森林所有者へ林地の「集約化」を含めた施策の「提案」が必要になる。このような地域森林管理を実現する方法を「提案型集約化施策」といいます。



ショウガ畑では種芋の作付けに大忙し



仁淀川の自然を生かした体験型観光

## 体験型観光を推進

**回答** 地域資源を生かした体験型観光を推進する事業者や起業者を増やし、雇用の拡大につなげる。

## 企業誘致に取り組む

**回答** 本町出身者と縁のある経営者などに協力を呼びかけ、企業誘致に取り組み新たな雇用を生み出す。

国・県及び民間事業者から情報収集し、市街地以外のネット環境の整備を検討していく。



休耕地を利用して農業経営を目指す地域おこし協力隊員

## 新しい人の流れを作れ

生産年齢人口の割合と定住者数を増やすため、子育て世代の移住者を増やすこと。

### 町の魅力を発信

**回答** 都会をターゲットに本町の魅力を発信するため、「おち家プロモーション」によるPR活動を行う。  
移住者を受け入れる地域に対し、奨励金を出す制度を検討する。  
若い起業家の誘致や就業支援をするため、空き店舗などを活用したシェアオフィスを整備する。

### 県外や都市部からの人材の誘致

**回答** ふるさと寄附金の寄付者を「ふるさと住民」と位置付け、越知ファンを増やす。  
農林産物の加工、販売を生業としてやってみよう人材を誘致する。  
地域おこし協力隊を募ることににより森林資源の活用を図る。

## 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえよ

### 補助金制度

#### 創設検討

**回答** 婚活サポーター制度の活用やコーディネートターの育成。  
結婚祝い金や成果を出したコーディネートに対する報奨金制度を検討する。  
若者の流出を防止するため、住宅補助金制度の創設や出産祝い金、奨学金制度を検討する。



あったかふれあいセンターのような交流の場となる施設整備を

## 時代に合った地域づくりと暮らしを守り、地域間の連携に取り組み

### 集落活動センター開設を支援

**回答** 山間部の2カ所で、集落活動センターの開設を目標にしている。

## 人材育成を

### 指導者育成に取り組み

**回答** 子どもたちの地域学習として、横倉山や仁淀川などの豊かな自然の中で体験型学習を実施し、地域の人たちと関わる開かれた学校づくりに取り組んでいく。  
地域の担い手や町職員など「指導者の育成」に取り組み。  
女性の活躍の場の拡大を図る。

市街地の中央部と東部にも交流の場となる施設の整備を検討する。  
地域公共交通会議で、新たな地域公共交通の仕組みづくりに取り組んでいる。

# 一般会計当初予算7.9%増 40億3628万円

国・県の事業導入を積極的に進める

3月定例会 会期6日間 11日～16日

○町長提出議案35件

28年度各会計予算、27年度各会計補正予算、機構改革による課設置条例の一部を改正する条例など  
【16面に関連記事】

○町長提出承認3件

税条例等の一部を改正、27年度一般会計補正予算  
【18面に関連記事】

○議員提出議案4件

TPP協定の国会批准をしないことを求める意見書など  
【19面に関連記事】

○一般質問7人

地方創生、町長の政治姿勢など  
【22面から】

平成28年度予算

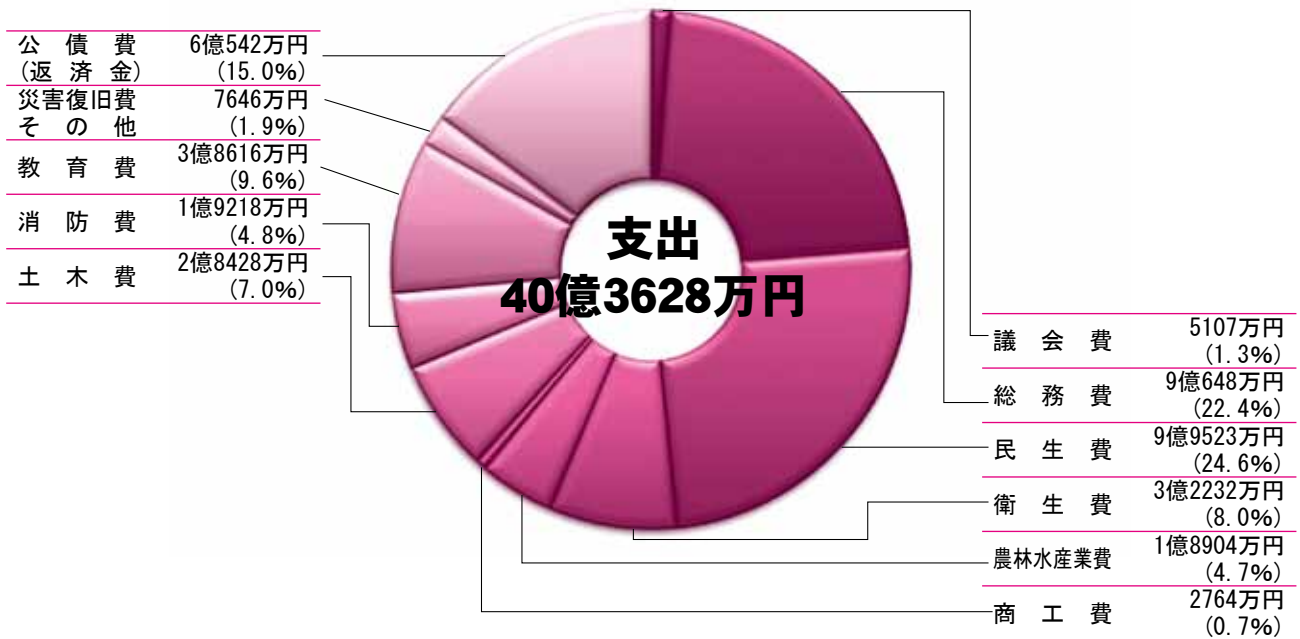
会計名	予算額	前年度予算額	増減	
一般会計	40億3628万円	37億4038万円	2億9590万円	
特別会計	簡易水道	4億6816万円	1億7125万円	2億9691万円
	下水道	2億1976万円	1億7783万円	4193万円
	国民健康保険	9億4035万円	9億3568万円	467万円
	介護保険	10億5182万円	10億6444万円	△1262万円
	後期高齢者医療	1億1619万円	1億626万円	993万円
	土地取得	0万円	0万円	0万円
	蚕糸資料館	22万円	21万円	1万円
	自然の森博物館	2173万円	2391万円	△218万円
企業会計（水道）	6441万円	1億1779万円	△5338万円	
合計	69億1892万円	63億3775万円	5億8117万円	

全ての会計を賛成全員で可決



グラフで見る  
一般会計

# 収入と支出を分析



町 税	町民が納める税金（町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税）
繰入金	町の貯金を下ろして使うお金
交付金等	消費税やガソリン税などから地方へ配分されるお金
地方交付税	自治体運営の均衡を保つため、国税（所得税、法人税、酒税など）の一部から配分されるお金
国・県支出金	決まった目的に使うため、その費用の一部または全部が国や県から交付されるお金
町 債	町が事業を行うため、費用の財源不足を補うために借り入れるお金
公 債 費	町が借り入れたお金（町債）の返済金
自 主 財 源	町が自前で賄うことができるお金
依 存 財 源	地方交付税や町の借入金、国・県の補助金などに頼るお金

# ピックアップ

平成28年度予算の中から、今年注目する事業を取り上げました。  
一般会計予算は、昨年度と比べ、2億9590万円の増額となりました。

地域おこし協力隊11人雇用

人件費と活動経費4612万円

今年度は、地域資源を生かす協力隊2人、横島西部地区での地域活動を支える協力隊1人、観光・イベントを支援する協力隊1人、鳥獣被害の駆除に携わる隊員1人、林業の担い手として1人を新たに雇用する。

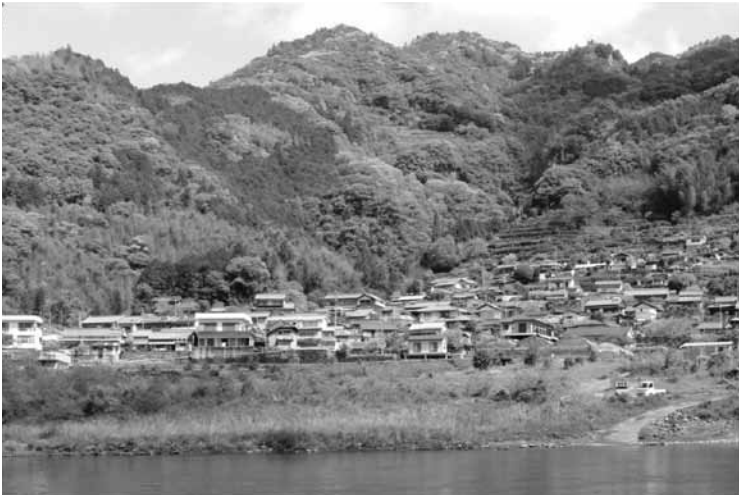
さらに将来の起業を考えている人材を募集し、3年後も住み続けられるよう支援することで、定住促進を図る。



閉校した横島小学校の今後さらなる活用が検討される

# ことしの事業

鎌井田地区1億440万円  
山室地区5659万円  
水道事業 29年3月末完成を目指す



台風などにより断水に悩まされていた鎌井田地区は改修事業により解消される

## 鎌井田は断水の悩み解決

地区の簡易水道は、昭和32年に設置されたもので、配水管が老朽化し漏水が大きな問題となっている。

取水地は台風等で増水すると管が詰まり断水に悩まされていた。

改修事業により、安全で安定した水道水の供給を図る。

受益戸数は92戸で、29年3月末に完成予定。

## 衛生的になる山室

現在は谷の水を、2〜3戸ごとに取水し飲料水として利用しているが、渇水期には水が枯れ、大雨後には水が濁る。

る過施設がないため健康面の不安や、高齢化による施設の維持管理も困難となっている。

施設整備により、維持管理が容易となり、安全・安心な生活用水の供給をする。

受益戸数は9戸で、29年3月末に完成予定。



山室地区は飲料水の確保に大変な苦勞をしている

# 地震等災害対策 3 事業

計画策定に1578万円

地震対策計画の策定

765万円

県から指定されている「延焼

防止重点地区（2区く10区）」で、

「出火防止」、「延焼防止」、「安全な避難」の観点から、地域住民が自らの手で人的被害の軽減や財産を守るための地震火災対策計画を作る。



延焼防止重点地区では地震による大規模な火災が心配される

応急機能配置計画の策定

599万円

大地震発生などで、避難所、医療救護所、物資の集積拠点、応急仮設住宅用地等が必要になる事例が多発する可能性がある。

応急対策などを円滑に進めるため、発災後の時間経過に応じた施設の配置計画を行う。

避難所の運営マニュアル策定 214万円

大規模災害発生時、避難所において、避難者や地域の人が避難所の運営ができるよう、モデル的に1地区でマニュアルを作る。



買い替えられる越知分団の消防ポンプ自動車

## 消防ポンプ自動車

購入費に2560万円

越知分団に配備されている消防ポンプ自動車は、平成5年12月に購入したもので、22年以上が経過しており、老朽化が進み、ポンプの性能も落ちてきている。

最新鋭の消防ポンプ自動車に更新し、安心・安全を確保する。



空き家を再生し地域の活性化に役立てる(7区)

空き家を購入し、地域住民の居住支援（災害・火災の被害者などの緊急避難）や移住者の受け入れなど、地域の活性化に役立つ住宅として整備する。

**空き家の活用**  
**改修工事費などに1104万円**

緊急車両が通行できる道に



## 命と暮らしを守る道づくり

概略設計費に60万円

8区の町道向屋敷池ノ上線（仮称）の計画路線の周辺道路は道幅が狭く、車道に隣接していない住宅がある。

緊急車両の通行可能な循環型道路を整備することにより、住民の安心・安全を確保する。

28年度の予算では、地権者等への説明資料にする概略設計費60万円を予算化した。

# 商店街活性化施設で質疑

**予算を超える  
改修とあるが**

**岡林議員** 現況建物調査資料では、「予算を超えるが改修活用すべき」とあるが十分か。

**予算内で納めたい  
中内企画課長** 改修工事は、補助事業の予算内で納めたい。

**今後の補正は**

**岡林議員** 今後、補正をしなくてもこの中で収まるのか。

**予算計上は概算**

**小田町長** 予算計上は概算だが、当然予算の範囲内で収める。

**補助金は  
増えるのか**

**武智議員** 補助金が900万円だとのことだが、事業費が増えた場合は、補助金も増えるのか。

**増えない**

**中内企画課長** 事業名は、社会資本整備総合交付金で、事業費が増えても補助金は増えない。

**大幅な変動が  
あれば相談する**

**國貞副町長** 設計ができた段階で、事業費に大幅な変動がある場合には、改めて相談する。



耐震を含めた改修工事が行われる9区の空き店舗

**社協補助金  
増額の理由は**

**小田議員** 社会福祉協議会補助金が、昨年より190万円増えた理由は、

**臨時職員1人雇用**

**西川住民課長** 福祉センターの所長が事務局長を兼務していたが、解消するための臨時職員の人件費である。

**広域負担金**

**増額の要因は**

**小田議員** 高吾北広域事務組合への負担金が昨年より約240万円増額しているが、要因は、

**財務会計経費**

**織田総務課長** 財務会計を入れる経費である。

**何に使うのか**

**岡林議員** 臨時福祉給付金事業は、何に使うのか。

**3万円の給付金**

**西川住民課長** 65歳以上の低所得向けの給付金で1人3万円、対象者は1408人。

**住んでいる  
人の支援拡充を**

**山橋議員** 保育園の親子遠足助成金が1万円から15万円になった。移住定住も大事だが、

今越知に住んでいる人も子育て支援等を増額してほしいが、

**同様の考えだ**

**小田町長** 同様の考えであるが、財源を考慮しながら進めたい。



英語圏（グアム）で初めて中学3年生の研修が行われた

## 英語圏での 研修継続を

**寺村議員** 英語力の向上の取り組みとして、英語圏への研修は非常にすばらしいことだが、今後も継続していくのか。

## 非常に効果がある

**山中教育長** 27年度から始めたが、意識の高揚につながり、非常に効果がある。

28年度も同様の予算計上をしているが、財政的なこともあるので、将来は修学旅行と関連させることも検討したい。

## 青年就農

### 給付金の内訳は

**武智議員** 28年度も青年就農給付金1050万円、ふるさと就農給付金75万円が組まれているが、内訳は。

### 経営開始型7人

**高橋産業課長** 青年就農給付金は準備型で1人を想定。経営開始型は継続が5人で新規が2人。

ふるさと就農給付金は、45歳以上60歳未満が対象で、新規1人を想定している。

## 改修等の 見込件数は

**武智議員** 移住者住宅改修費等補助金と移住者賃貸住宅家賃助成金の見込み件数は。

### 合計で40件

**中内企画課長** 住宅改修費補助金は、県内50万円8件、県外100万円2件を見込んでいる。

賃貸住宅家賃助成金は、入居の費用助成8万円が15件で120万円。家賃の助成が12万円15件の180万円。

## 家屋全棟調査 業務の内容は

**高橋議員** 昨年1800万円、今年が2000万円。来年もあると聞いているが、調査内容は。

### 家屋評価の算定

**片岡税務課長** 27年度は、航空写真撮影と宅地の一筆調査をした。

28・29年度は、全棟調査を実施し、航空写真と現在の家屋評価台帳と照合して、一致していない箇所を抽出する。

その後、現地で職員が直接家屋を検測して正しい評価額を算定する。

## 管理業務の 委託内容は

**武智議員** 公営住宅管理代行業務とは、どういうことを委託するのか。

### 修繕管理代行

**織田総務課長** 小舟と8区の町営住宅の修繕管理の代行をお願いする。

今までは、入居者から役場に連絡があり、業者を手配していたが、県の住宅供給公社に委託することで、24時間365日対応してもらう。工事は、町内業者を考



修繕管理を県の住宅供給公社に委託する小舟団地

条例の一部改正

# 住民課を分離し保健福祉課を新設



保健福祉センターの2階が保健福祉課となる

## 新しい課ができた

保健福祉センターで業務している社会福祉及び保健衛生等の事務の効率化を図るために住民課を分離し、保健福祉課を新設。(4月1日施行)  
《賛成・全員》

## 職員給与が変わる

県人事委員会報告及び人事院勧告の趣旨に沿い、若年層の給料月額を改定するもので、22人が対象。  
(4月1日施行)  
《賛成・全員》

## 集落支援員等が加わる

行政不服審査会委員と集落支援員の報酬を追加する。(4月1日施行)

行政不服審査会  
会長・月額・5700円。  
委員・月額・5200円。

集落支援員  
月額16万5000円以内  
で町長が定める額。  
《賛成・全員》

## 条例の制定

### 行政不服審査会ができる

町に対し、不服を申し立てる制度の整備をするため、行政不服審査会の組織や運営事項を定める。  
(4月1日施行)  
委員の定数は、5人以内で任期は3年。  
《賛成・全員》

## 質疑

**山橋議員** 委員は5人となっていて、女性が委員として入れる考えはなにか。

**小田町長** 法律や行政に関して優れた識見を有する者を入れたいと考えている。

## 農業委員が選任制になる

農業委員の選出方法が公選制から市町村長の選任制となるため、定数を定めるもの。  
町長が議会の同意を得て任命することになる。  
(4月1日施行)  
委員の定数は、10人。  
《賛成・全員》



町議会と農業政策について懇談する農業委員





昭和38年以来の大雪に見舞われた

専決処分を承認

27年度一般会計補正

町道除雪緊急工事

1月19日に、山間の14集落が大雪のため車両が通行できない半孤立状態となり、緊急に除雪が必要となった。

補正額は、町道雪害対策緊急工事費230万円。

公用車等の確保

2月4日の建物火災により、西庁舎倉庫や測量機器及び公用車4台が類焼に遭い、倉庫の修繕と公用車の確保が緊急に必要となった。

補正額は、西庁舎修繕工事費、車両のリース料など383万円。

町道の認定



町道に認定された小日浦屋敷線

5路線を町道に認定。

(賛成・全員)

①町道後山下前線

(後山)

延長130m  
幅員2・0m

②町道バラガタキ線

(熊秋)

延長389m  
幅員4・0m

過疎計画

現行の過疎地域自立促進計画が、28年3月31日で終了するため、28年度から32年度までの5年間の計画を議決。  
法律に基づき、特別な財政措置を受けることができることになる。

1、産業の振興

- 林道下ノ谷佐ノ国線を新設
- 西町商店街活性化店舗兼交流スペース改修事業

③町道小日浦屋敷線

(小日浦)

延長114m  
幅員2・5m

④町道熊秋加枝ヶ谷線

(熊秋)加枝ヶ谷

延長677m  
幅員4・0m

⑤町道西川芝線(3区)

延長27m  
幅員5・0m

- イルミネーション、観光イベント補助、高知ファイティングドッグス広告事業ほか

2、交通体系の整備、地域間交流の促進

- 町道の新設、改良、舗装
- 廃止路線代替バス車両購入
- 移住促進事業

3、生活環境整備

- 水道施設整備
- 消防施設及び災害対策計画策定業務

4、保健福祉の向上及び増進

- あったかふれあいセンター事業
- 福祉ガソリン・タクシーチケット事業
- インフルエンザ予防接種事業(65歳以上)
- 子育て世代支援事業
- 少子化対策事業ほか

5、教育の振興

- スクールバス購入
- 中学生国際交流事業
- 家庭教育・高齢者研修事業

今号の表紙



4月7日に小学校の入学式が行われました。新入生は31人で、校長先生から「お友だちをいっぱい作って」とあいさつがありました。

# 魅力まるごと発信事業5955万円

正算  
補予

観光の振興と活性化、新たな地域文化の創造に取り組む

## キャンプサイト

本町の宝物である仁淀川の恵みを生かし、民間との共同によるキャンプサイトの整備に取り組むことで、体験型観光をさらに推進する。

**内容** 整備計画等設計委託、イベント経費等。  
予算額3300万円

## テレビ等でPR

本町の魅力をテレビ、ラジオなどのメディアを通じてPR活動を積極的に展開する。

**内容** 広告、テレビ・ラジオの特別番組の制作・放送料。  
予算額1878万円

## よこジロー活用

昨年誕生した本町のイメージキャラクター「よこジロー」を積極的に活用する。

**内容** 着ぐるみ追加作製、運搬・クリーニング代、旅費等。  
予算額183万円

## 移住促進

町の魅力をまるごと発信することで、交流人口の拡大、移住者の獲得につなげる。

**内容** 移住支援相談員人件費、相談会出張旅費、お試しツアー開催経費、パンフレット等作成。  
予算額594万円



町のPRに活躍中のよこジロー

## 南海地震に備え町民の命と暮らしを守る道づくり

町道整備に1億4681万円

地域住民の命と暮らしを守る町道の老朽化対策、防災・減災対策を積極的に行う。

### 事業概要

工事名	延長(m)	工事内容
今成深瀬線改良交付金工事	150	山留工、路側工
大ゴヤ線修繕系交付金工事	340	山留工
鎌井田横島線修繕系交付金工事	80	落石防止網工
桐ノ峠線修繕系交付金工事	650	山留工
佐之國1号線修繕系交付金工事	43	落石防止網工
浅尾谷口線修繕系交付金工事	50	落石防止網工
今成榎ノ森線修繕系交付金工事	15	法粹工

## 仁淀ブルー観光協議会へ

342万円

**岡林議員** 土佐市など6市町村の構成と聞いたが、全市町村同額か。

**中内企画課長** 均等割20%だが、人口割40%、財政力指数割40%となっており、一番高い土佐市で779万円、一番少ない仁淀川町で、328万円となっている。

# 意見書

3月定例会に提出された4件全てを可決し、関係機関に提出しました。

**無電柱化の推進  
に関する法整備  
を求める**

**ヘイトスピーチ  
対策の法整備を  
求める**

**提出者** 小田範博 議員

無電柱化は、防災性の向上や安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点から重要である。

このため、無電柱化の推進に関する法律案の早期成立を強く要望する。

**提出先** 内閣総理大臣、  
農林水産大臣

《賛成・全員》

**提出者** 高橋文一 議員

昨今、特定の外国人を排斥する差別的言動（ヘイトスピーチ）が行われており大きな社会問題となっている。

ヘイトスピーチは社会の平穏を乱し、人間の尊厳を侵す行為であり、根絶のための法整備を速やかに検討し実施すること。

**提出先** 衆参両院議長、  
内閣総理大臣他

《賛成・全員》

**TPP協定の国会批准をしない  
ことを求める**

**提出者** 西川 晃 議員

TPP（環太平洋パートナーシップ）協定は、米・麦の輸入枠拡大、牛・豚肉の関税引き下げなど重要農産品5品目全てで大幅に譲歩している。全農産物の関税撤廃が

迫られる恐れがあり、本

県の地域農業は立ちいかず、地域経済の崩壊を招きかねない。

よって、国会決議に違反するTPP協定の批准は行わないことを強く求める。

**提出先** 衆参両院議長

《賛成・全員》



牛肉はTPP発効16年目に関税が9%になるため影響が大きいとされている

**軽度外傷性脳損傷や脳しんとう  
予防等の相談窓口  
設置を求める**

**提出者** 武智龍 議員

① 教育機関での周知徹底と対策。

② 専門医による診断と適切な検査の実施。

③ 周知・啓発・予防相談窓口の設置。

④ 園内・学校内で発生した重大事故の繰り返し防止

《賛成・全員》

**提出先** 衆参両院議長、  
厚生労働大臣他

スマホやタブレットで「動画」を見るには、下記の操作をしてください。  
動画の見られる期間は、7月31日までとなっています。

操作は簡単  
3ステップ!



アプリマーク

- ① 専用アプリをダウンロードしてください。  
iphone/ipad は「App Store」  
スマホ/タブレットは Google「Playストア」  
各サイトで「COCOAR」を検索して、アプリ(パンダマーク1)をダウンロードしてください。  
(無料で登録の必要はありません)

iphone/ipad  
App Store



スマホ/タブレット  
Playストア



- ② アプリを起動し、カメラマークをタップし、写真にかざしてください。
- ③ ピントが合うと動画の再生が始まります。スマホを横にして動画フレームをクリックするとサイズが大きくなります。



総務教育常任委員会（委員長・高橋丈一）5人は、2月12日に長者山町有林、9区空き店舗、横倉山自然の森博物館、町民会館テニスコート、幼稚園、共同調理場建築に係る中学校改修工事などを視察調査しました。

# 町有林の有効活用を

## 協力隊を入れよ

長者山の面積は14万6445㎡で、林齢50〜60年生の人工林は、間伐や枝打ちなどの手入れが十分でない。

大型製材工場の進出やCLT工法の推進、木質バイオマス燃料への活用など、今後木材の需要が期待され、良質な原木づくりと自伐型林業家の育成、保険料など維持管理費確保の必要がある。

地域おこし協力隊を入れて、作業・搬出路の整備と合わせ間伐事業を検討されたい。

## 西町の活性化を

チャレンジショップ、交流広場、地域おこし協力隊員の住居として活用するため、補助金や過疎債を入れて、事業費1100万円で耐震を含めたリフォームをすとの説明を受けたが、建物全体がかなり古く外観や内装も傷みが多い。

西町の活性化の拠点施設となるには駐車場の確保も課題である。

## 博物館にカフェを

多くの来館者から「眺望のいい3階にカフェテラスがあればいい」との要望がある。

集客増のため、ロケーションと民間人の活用、越知産材にこだわった軽食やお菓子、コーヒー等で、おしゃれでゆとりの

あるおもてなしを検討されたい。

## テニスコートの

## 転用を

町民会館テニスコートは、5面のうち北の3面はほとんど利用されていない。

転用を含め有効な活用方法を検討されたい。



博物館3階からのロケーションは抜群に良い

## 良くなった幼稚園

幼稚園は、弁当から給食にスムーズに移行し、搬入のための改修工事も行われている。

また、弁当の日を月1〜2回作るなど食育への気配りもされている。

施設面では、倉庫として使われていた2階の一室が快適な図書室になっているが、少し照度が低いように感じた。

砂場の管理は適正だが、遊具の一部にさびがあり、対策が必要である。

## 搬入が楽になった

中学校は、家庭科室の壁の取り壊し、校舎内の段差をスロープにして、給食の搬入が容易になっている。

旧調理場の北側が沈下し建物に傾きが生じており、安全確保のため定期的な点検と地震などに対する防災対策を検討されたい。



倉庫から図書室に生まれ変わった

産業建設常任委員会（委員長・西川晃）5人は、2月19日に道路改良工事や林道開設工事、水道工事などを視察調査しました。

## 初期投資を軽減

園芸用ハウス整備事業は、後山地区のイチジク畑に、雨よけハウスが設置される。

ハウス園芸に取り組む新規就農者にとっては、初期投資が軽減され、安心して施設園芸に取り組める有効な事業である。



新規就農者には有効な事業だ

# 完成を心待ちにしている

## 順調に進む工事

野老山水道施設整備は、ボーリング・配水管工事も順調に進んでいる。

28年度は、国の予算が大幅に減額され、工期が1年延長されるとの見通しだが、地区民は完成を心待ちにしており、一日でも早い完成を望む。



完成間近い大元地区の配水池

## 生活水が安定

大元地区の受益戸数は4世帯と少ないが、将来にわたり安心できる水を安定して使用できる。水道事業は重要であり、今後も推進されたい。

## 筏津線の早期完成を

筏津線の改良工事は、順調に進んでいる。栗ノ木地区への筏津支線開設につなぐ重要な工事となっており、早期完成を望む。

今成深瀬線は、難所の一つであった栗ノ木集落の工事も順調に進んでおり、予想以上に良くなっている。

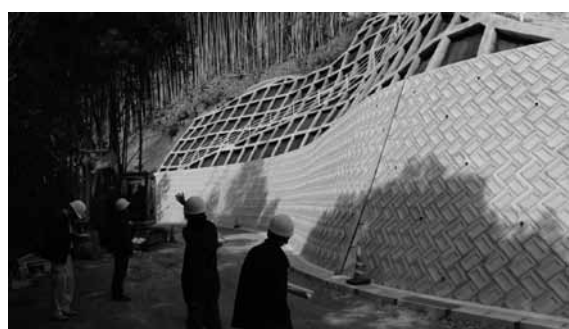
桐ノ峠線は、命の道でありヘリポートまで早期完成を望む。

桑藪ヘリポートは、Hマークが剥がれており修繕が必要と思われる。

## 栲ノ瀬山地災害防止工事

植生基材吹付が万全に施工されている。

作業道は間伐や木材の集材・搬出や有害鳥獣対策になくはならないが、地形・地質等を十分ふまえ、流末処理を徹底的に行うなど災害を起こさない工法の確立を望む。



難所だった栗ノ木集落西の現場

# 命の道整備

# 一般質問

# 7人登壇

ズバリ!!

## 町政を問う

### 一般質問席

会議録は議会事務局と  
ホームページ <http://www.town.ochi.kochi.jp>  
でもご覧になれます。

#### 西川 晃・23ページ

- ① 近年の水災害  
・ 久万目川の土砂撤去を  
・ 途切れた農道
- ② 人材育成の成果  
職員研修の取り組みは
- ③ 町長の交際費

#### 高橋丈一・24ページ

- ① 地方創生事業  
・ キャンプフィールド事業は  
・ 集落活動センター
- ② 教育行政  
・ 英検3級の結果は  
・ コミュニティスクール

#### 小田範博・25ページ

- ① 町長の政治姿勢  
町をどのように変えたのか
- ② 移住・定住対策
- ③ 観光行政  
・ 仁淀川周辺の景観整備  
・ 民泊の推進

#### 武智 龍・26ページ

- ① 林業後継者育成
- ② 公共施設への木材の活用
- ③ その他の質問  
・ 国勢調査  
・ 小規模水力発電

#### 岡林 学・27ページ

- ① 訓告処分
- ② 建物火災  
場所分ならず大変心配した
- ③ 選挙権年齢の18歳引き下げ

#### 山橋正男・28ページ

- ① 町長の政治姿勢  
選挙公約は実行できたか
- ② 基幹集落センター  
無償譲渡しては
- ③ その他の質問  
保健、医療、福祉の充実し  
た町づくり

#### 市原静子・29ページ

- ① 命を守る救急車  
軽自動車の救急車導入を
- ② 越知町の新アピール  
「よこジロー」のナンバーを
- ③ 高齢者対策  
・ 見守りカプセル配布を  
・ 手形ポップ導入を



# 近年の水災害

## 久万目川の土砂撤去を

### 引き続き要望する 建設課長



土砂が堆積した久万目川

**問** 久万目川は、土砂が堆積して農地が被害を受けているが、今後撤去の見通しは。

**前田建設課長** 昨年県土木事務所に要望し、一部の堆積土砂が除去されたが、まだ上流部には残っており引き続き要望していく。

### 途切れた農道

**問** 久万目川沿いの途切れた農道の拡幅はできないか。

### 財政担当課と協議

**前田建設課長** 農道女川田中線は、約100メートルの間、車が通れない。農道整備は国の補助金を財源としているが、小規模な農業基盤整備には予算配分がないため、今後町の単独事業か作業班の出動も含めて財政担当課と協議していく。

## 人材育成の成果

### 職員研修の取り組みは

今後も続けたい 町長

**問** 職員のスキルアップ研修など、人材育成の成果は。今後引き続き取り組んでもらいたいと考えは。

向きな変化を感じている。職員のスキルを上げることが町勢浮揚には欠かせないので、今後も続けたい。

### 成果は大きい

**織田総務課長** 研修は県内外延べ76人が受講している。

職務に必要な専門知識の習得や実務能力の向上など職員の自己啓発につながっている。意識や考え方について新たな気付きがあり、成果は大きいと思う。

### 小町町長

県外研修では、一線で活躍する大学教授の講義を他県の職員と共に学ぶ環境が非常に有効で、仕事に対する前



地域課題をテーマとした政策研究共同事業に本町の職員も参加した

## 町長の交際費

### 交際費は十分か

営業活動などに100万円

総務課長

**問** 越知町の正念場となるこれからは、国・県への要望活動やさまざまな営業が必要と思うが、町長の交際費は十分か。

**織田総務課長** 財政的には厳しいが、営業活動など将来への投資は必ず結果に結びつくと思っています。28年度は9万円増額し、100万円を計上している。

地方創生事業

キャンプフィールド事業は

せんざいいちじゅう  
千載一遇のチャンス 町長



高橋文一 議員

**小田町長** この事業は、企業、設計者、行政が連携して同時進行をさせていく。  
千載一遇のチャンスだと捉えている。  
計画を成功させるため

集落活動センター

**問** 集落活動センターの取り組み方、場所、開設の時期は。  
地域住民にとっては期待と不安がある、説明不足にならないように十分な対応を。

**小田町長** 人口減少が進む中、社会増に重点を置くと共に、若い世代への効果的な施策を実施し、出生率の上昇を図りたい。

越知町まち・ひと・しごと創生総合戦略を、全町民と共有して取り組みたい。

山中教育長

27年度の中学3年生の3級合格者は17人で34%となっているが、28年度は40%、29年度は50%を達成したい。

早期に対応することによる効果があるので、今後は保育園、幼稚園から英語を聞いたり話したりする機会を増やしたい。

コミュニティスクール

**問** コミュニティスクール活動による取り組みの成果は。

山中教育長

小学生は、コミュニケーション力が高まり、あいさつがよくなるようになった。  
中学生は、地域への貢献や愛着を強く持つようになった。

教育行政

英検3級の結果は  
中学3年生で34%

教育長

**問** 文科省は、2017年に英検3級程度以上の中学3年生を50%以上にするという目標だが、全国調査では20〜40%の結果となっている。

本町の現状と今後の取り組みは。

2カ所を目標

**中内企画課長** 6つの旧小学校区を対象に、31年度までに2カ所を目標にしている。

県と共同して、できるだけ早く支援できる体制を整えていきたい。  
あくまでも住民が主体であり、地域の方がやりやすい形にできればと考えている。

**問** 地方創生事業は本町にとって最も重要な5年間となる。  
行政のトップとしての方針と決意は。

**問** 越知町版地方創生総合戦略の主な柱はどれくらいあるか。

**中内企画課長** 5つの基本目標を掲げ、具体的施策は30挙げている。

**問** キャンプフィールド事業は、県の応援もあり全国に名を売る数少ないチャンスではないか。



宮の前公園もキャンプフィールド事業の有力な候補地の一つだ



## 町長の政治姿勢

# 町をどのように変えたのか 組織改革できめ細かなサービス 町長



小田範博 議員

**問** 町長に就任後、2年間で以前と比べ、ハード・ソフト面、取り組み姿勢などで町をどのように変えたのか。

**小田町長** 組織改革を行い、きめ細かな行政サービスができる体制にした。

イメージキャラクター「よコジロー」を活用し、町を積極的にPRして移住・定住を促進してきた。

ふるさと寄附金の返礼特産品を取りそろえることで生産者が潤っていると思っている。

地域ハイヤーチケットを始めたことで、高齢者のお出かけサポートになっている。

今後は、地方創生総合戦略に盛り込んだ施策を基本に取り組み。

**問** 今後、事業を推進していく上で、職員や住民とのコミュニケーションが大切と思うが十分か。

**小田町長** 職員とのコミュニケーションは十分とり、風通しのよい職場環境づくりに努めている。町民とは、各団体や地域の集まりに出席するようになっている。

今後は座談会の開催や女性の会合に積極的に参加したい。

**問** 今後は、特にどのような分野に自分の考えを示すのか。

**小田町長** 人口対策が最重要課題で、地方創生事業の中で交流人口を拡大し、移住・定住に力を入れたい。

具体的には、キャンペーンフィールド事業の整備を進める。

**小田町長** その考え方に同感だ。

まだ、不足している部分があるので、意識して取り組む。

**問** 町外へのPRも効果的だが、それだけでは不十分である。

住みやすい町にするため「越知町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げている5本の柱をどのように展開するのか。

## 移住・定住対策

# 住みやすさを感じる町

## 意識して取り組む

町長

**問** 住んでいる人が、本当に住みやすい町であると感じられることが移住・定住対策の第一歩であり、永住につながると思うが考えは。

**小田町長** 若い世代が住みやすい町づくりが重要であり、子育て支援を積極的に取り組む。事業推進に当たっては、職員と情報を共有し、横断的に集約して進める。

**小田町長** その考え方に同感だ。

## 観光行政

**問** 民泊は、都会との交流が深まり移住・定住につながると思うが、空き部屋を利用した取り組みを推進する考えはないか。

**小田町長** 法整備などがあり今後の検討課題としていたい。

**問** 仁淀川周辺の支障木や竹林などを取り除き、景観モデル地区を作る考えはないか。

**中内企画課長** 先進地視察を生かし、モデル地区づくりを検討する。



支障木を取り除き仁淀川の景色を売り込みたい

おち駅はふるさと寄附金の返礼などで売り上げが伸びている

# 林業後継者育成

## 林業振興に力を入れよ 地域おこし協力隊を募る

町長



武智龍 議員



長者山町有林は「土佐ツムラの森」の森林整備ゾーンに指定されている

**問** 本町の伐採期を迎えた人工林6116ヘクタールを、量と金額に換算すればどれくらいか。

**前田建設課長** 推定蓄積量は261万8000立方メートルで、280億円くらいになる。

**問** 相当な雇用効果が見込めるが、林業後継者育成は、いつから取り組むのか。

**前田建設課長** 28年度に人材を掘り起こし、経験豊富な人に指導してもらえような支援制度をつくりたい。

**問** 今後5年間に育成する目標人数と具体的な仕組みは。

**前田建設課長** 地域おこし協力隊3〜4人を目標にしたい。林業学校の活用も検討している。

**問** 長者山町有林は、傾斜も緩く初心者の研修フィールドに向いているが活用する考えはないか。

**前田建設課長** 作業道の開設や間伐の研修に最適である。環境教育や職業体験など、人材育成と絡めながら検討したい。

### 公共施設への木材活用

#### 使用の義務付けを

#### 小学校屋外トイレに使用

町長

**問** 公共施設へ仁淀川流域や県産材の使用を義務付けしないと、民家に木を使ってくれとは言えないがその考えは。

**小田町長** 小学校屋外トイレに仁淀川流域産材を使用する。民間の住宅には、町産材等を使ってほしいという呼びかけはできる。

#### 補助制度を

#### 作る考えは

**問** 仁淀川町には、住民が木造住宅を新築する場合150万円〜200万円、増改築の場合は上限75万円という町独自の補助制度がある。本町はこのような制度を作る考えはないか。

**小田町長** 本町産材が建築材として使える状況にないので、制度づくりはまだ早いと思っている。



野老山本村集会所は木材がふんだんに使われている

### その他の質問

#### 国勢調査

**問** 人口を確定する国勢調査で、調査票の未回収があったようだが、人口増のため、多額の費用をかけた事業が無駄にならないようすべきだ。

**小田町長** 今後十分肝に銘じてやる。

#### 小規模水力発電

**問** 売電益は毎年継続的に生まれるが、町づくり戦略に位置付ける考えはないか。

**中内企画課長** 多額の費用があるので今後研究したい。

## 訓告処分

### 内容と原因は

### 思い込みや確認不足

#### 副町長

**問** 今年2月に各課の連携が不十分で、補助金を受けられない事態となり、職員に訓告を行ったと聞いたが、内容と原因は。

**國貞副町長** 26年度に施工した町道浅尾谷口線防護柵設置工事で、補助金ではなく、県の防災対策事業債を年度内に借り入れた手続きをしていなかったことで、訓告処分を行った。

手続きをしていれば、後年度に県から268万円が受けられたが、今回一般財源により補った。

原因は、借入担当の総務課が、27年度に繰り越すとの思い込みや確認作業ができていなかった。産業建設課は、事業の進捗状況の報告抜かりがあったことが要因である。再発防止に向け情報を報告、共有、確認するよう徹底した。

**小田町長** 深く反省している。

二度と起こらないよう職場に緊張感を持って仕事するよう周知した。



岡林学 議員

## 一般質問

## 建物火災

### 場所が分からず大変心配した 地区が特定できればしたい

#### 危機管理課長



火災現場の役場西庁舎付近

**問** 2月4日の火災で、消防本部からの放送は、「町内の火災です」が一回だけで、多くの町民は、場所が分からず大変心配した。

今回は、場所が特定されず、不安を感じたことは理解している。地区が特定できれば放送するよう考えたい。

場所が確認できたら、もう一度放送するよう協議できないか。

**片岡危機管理課長** 町内

での火災発生時には、高吾北消防署に、町防災無線でサイレン吹鳴と放送を依頼している。

## 選挙権年齢の18歳引き下げ

### 対象者は何人いるか

### 20歳未満は86人

#### 総務課長

**問** 27年6月の改正公職選挙法で、選挙権が18歳以上に引き下げられた。

**織田総務課長** 県の選挙管理委員会が、高等学校や選挙運動の講義、模擬投票を実施するなどの出前授業を行っている。

高校2年生1300人へのアンケートで、投票に行くかの質問に、48・5%が関心ないととの報道があった。

町では、広報や選挙前のチラシ、防災行政無線で啓発していきたい。参議院選挙の時点で、20歳未満の対象者は、86人である。



山橋正男 議員

# 町長の政治姿勢

## 選挙公約は実行できたか

### 一定の成果が出た 町長

**問** 町長になり2年になろうとしているが、選挙公約は実行できたか。新規就農者の助成金はあるのか、人数は。耕作放棄地の利用再生事業の成果は。農産物、地場産品の加工、販売は実施できたか。

#### 小田町長

26年度からの新規就農者は6人で、うち青年就農支援給付金制度の利用者が5人。

新規就農者によって再生された耕作放棄地は、田が60アール、畑が153アールとなっており、一定の成果が出ている。

地場産品販売は、ふるさと納税の返礼品や都内の店舗・レストラン等で実績が上がっている。

新たな加工品の開発等はできていないので、今後地域おこし協力隊や県のアドバイザー制度を活用して進めたい。

#### 高橋産業課長

新規就農者の助成金は、45歳までが対象の青年就農給付金準備型が180万円で2年間。経営開始型は150万円で5年間。45歳以上60歳未満の人に対する助成制度などもある。



町民バスとして運行が検討されている  
桐見川⇨越知・出来地⇨越知間の路線バス

**問** カヌー、ラフティング基地設置の整備はできたか。

**小田町長** できていないが、現在進めているキャンプフィールド計画と合わせて進めている。

**問** 安心・安全で暮らしやすい生活環境の整備はどのように行ったのか。

**小田町長** 役場内に機動性を持たせるため、産業建設課を分離し、危機管理課を新設した。

議会から提案のあったがけくずれ住家防災対策事業は、補助率を上げ受益者負担の軽減を図った。地域公共交通対策は、患者バスと路線バスを町民バスに移行するめどを立てた。

**問** お試し住宅は何組利用したか。

空き家バンクの登録件数は、移住者の住宅改修補助金は何組か。

#### 中内企画課長

お試し住宅利用者は10組17人で、2組3人が移住した。空き家バンクは41件の登録があり、7件が成立した。改修は、11件で903万円。

#### 高橋産業課長

使用料は1384万円。経費は管理委託料、修繕料、特殊建物の定期調査料等、合わせて1713万円である。

#### 交渉を続ける

**小田町長** これまでも話をしてきたが、今後も交渉を続ける。

#### その他の質問

**問** 保健、医療、福祉の充実した町づくりや生きがいづくりは、どのように進めたか。

**小田町長** 地域包括支援センター、ケアマネージャー、介護事業所等と連携し、あったかふれあいセンター事業やいきいき学園の充実を図った。

### 基幹集落センター

#### 無償譲渡しては

**問** 基幹集落センターの5年間の収支は。全議員が、JAコスモスに無償譲渡することに同意しているが、話をしはどうか。

## 命を守る救急車

### 軽自動車の救急車導入を

#### 消防支援車を配備したい

町長

**問** 軽自動車の救急車は、市街地や山間部の狭い道路も進入可能で、人力搬送の負担も軽減できるが、導入の考えは。

火災、救助、災害対策業務などで活躍している。29年度には、消防本署にも軽の支援車を配備したいと考えている。



市原静子 議員

**小田町長** 高吾北消防署が仁淀川分署に、箱バンタイプで4WDの多目的支援車を導入しているが、非常に使いやすく、救急



仁淀川分署に配備されている多目的支援車

## 越知町の新アピール

### 「よコジロー」のナンバーを

#### 多様な選択肢を用意

税務課長



「よコジロー」のナンバープレートの図案

**問** 各地で、ご当地ナンバープレートが誕生している。

本町もかわいいキャラクターの「よコジロー」が誕生し、アピールできると思うが導入の考えは。

**片岡税務課長** 原付バイク用として28年度予算に従来の白いタイプと、「よコジロー」をそれぞれ300枚ずつ上げている。

新規登録は、従来のものか「よコジロー」の選択とし、現在のナンバーも交換できるようにする。

## 高齢者対策

### 見守りカプセル配布を

#### 支援体制を整備する

住民課長

**問** 認知症高齢者の徘徊対策として、今までも様々な方法を提案してきたが、「見守りカプセル」配布の考えは。

**西川住民課長** 徘徊高齢者を早期発見するための「見守りカプセル」や「見守りステッカー」「GPS」等の必要性は十分認識している。

家族や関係者のニーズに合わないことから、今年立ち上げる認知症初期集中支援チームで検証し、早期に支援できる体制を整備する。

**問** 受話器を取ると「待ったその電話詐欺かも」と跳ね上がり警告する「手形ポップ」がある。振り込め詐欺などの被害防止のため、導入する考えは。

#### 手形ポップ導入を

**高橋産業課長** 手形ポップは、気持ちを忘れないために有効である。

高齢者や一人暮らしの人が被害に遭わないよう、県や高吾北地区地域安全協会の情報も入れながら取り組む。

#### 情報入れ取り組む

# あれはどうなっちゅうが？

## 支障木の伐採事業

**武智議員**（平成22年9月）山間地域では、成長した木や竹などが家の周辺に押し迫り、倒れかかる不安や日照障害など生活環境の悪化に苦しんでいるが、伐採等の費用を助成する制度を作る考えはないか。

**吉岡町長** 過疎・高齢化が進んで、こういう問題があちこちで起こっている。

他町の例も参考に、財政との調整も考えて検討する。

**武智議員**（平成23年3月）昨年の9月議会で、支障木を伐採する制度を検討するということだったが、どのようになったか。また、実施の予定は。

**岡林住民課長** 高齢者や体が不自由な人の住宅に迫った立木などの伐採を行う地区へ、補助率90%で上限20万円を補助する制度を作り、6月に予算化した。

**武智議員**（平成24年6月）木が大きいと若い人でも伐採は難しいが、補助制度を見直して、多くの人が利用できるような考えはないか。

**吉岡町長** 現時点で見直す考えはないが、課長会等で対応を考えたい。

### 処理状況

#### 23年6月要綱制定

対象は、65歳以上の世帯又は身体等の障害により手帳の交付を受けている世帯及び町民税非課税世帯等。

補助率は90%。補助上限20万円。6月補正で、100万円を計上。

#### 25年7月要綱改正

年齢や障害などの要件を満たさない世帯でも補助が受けられるように制度改正。

補助率は70%。補助上限20万円。



施工前



施工後



裏山の立木の倒木が心配されたが、事業実施により解消された（中大平）

## 安心・安全なまちづくり

過去5年間の事業実績

年度	件数	70%補助	90%補助	事業費(円)	補助金額(円)
23	7		7	1,095,400	910,000
24	8		8	2,341,500	1,454,000
25	5	1	4	441,000	380,000
26	9	1	8	1,269,600	997,000
27	5	1	4	1,042,000	816,000

# 広域議会

第1回定例会（3月2日）  
 ○組合長提出議案18件  
 28年度各会計予算、27年度各会計補正予算、行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備ほか  
 ○一般質問2人

## もみじ荘は 定員割れ

**特別養護老人ホーム**  
 特別養護老人ホームもみじ荘は、定員50人に対し、46人と定員を割っており経営が厳しくなっている。

## 特養並みの介護必要

**養護老人ホーム**  
 五葉荘は、依然として介護を必要とする人が多く、定員50人中40人が要介護認定利用者である。  
 平均年齢は87・5歳で、高齢化、病弱化の進行は止まることなく、特別養護老人ホーム並みの介護が必要となっている。

会計名	予算額	前年度比
一般会計	9億4248万円	△1億221万円
特別会計	特別養護老人ホーム	△2100万円
	養護老人ホーム	△62万円
	障害者支援施設	△277万円
	ふるさと市町村圏	251万円
合計	24億5997万円	△1億2409万円

## ことしの事業ピックアップ

**焼却灰ストックヤード新築工事**  
7926万円

**本署高規格救急自動車購入**  
2898万円

28年度当初予算



29年には満杯となる楠神の一般廃棄物最終処分場

## 一般質問

**片岡智准 議員**  
 (仁淀川町)

### 最終処分場は今後どうなる

**問** 楠神の一般廃棄物最終処分場が、29年に満杯になると説明を受けたが、今後の計画は。

**須内事務局長** 最終処分場は、後2年で満杯となる見込みだ。新設に比べ民間委託の方が半額で処分できる。そのために、焼却灰を運搬車に積み込むことのできるストックヤードを建設する。

**岡林 学 議員**

### 越知町の民家火災

「町議会と同様の質問があり27面に掲載」

### 施設入所者の服用薬

**問** 1月に県内の特養で投薬ミスという報道があった。  
 組合施設では、薬の管理、服用介助、申し送り等のチェック確認はどのようにしているか。

**山尾もみじ荘所長** 利用者の服用薬は、薬局に対してできる限り一包装して各施設へ届けてもらうようお願いしている。  
 施設では、服薬管理マニュアルに基づき医務室で保管し、看護職員の指示の下、介護職員が本人確認をして服薬介助している。

# 連載：移住者訪問 ⑦

今回は、28年3月末で地域おこし協力隊の任期を終え、谷ノ内でゲストハウス「縁・e n」を開業準備中の金原隆生さんを訪問しました。



「縁」あって越知に住みます  
金原隆生さんと父の正敏さん

**議会を傍聴しませんか**  
3月定例会の傍聴者は延べ4人でした。  
次の定例会は6月です。  
大勢の傍聴をお待ちしています。

**父親が強力な応援者**  
客層は40代を想定しているとのことですが、これまでにタイから女性の大学教授が訪れたり、4月末には東京や大阪等から父親の友人が来てくれることになっていて、オープンに向けて、

友人の紹介で農家の空き家を購入し、改造されたものですが、庭も広く、雨天でもバーベキューができる倉庫も付いています。

人の優しさにほれて移住  
愛知県出身の金原さんは、隊員として活動中に関わった、仁淀川や人の優しさにほれて、定住を決められたそうです。  
「縁」は、谷ノ内ゲートポール場近くの見晴らしの良いところにあり、役場から25分くらいで行くことができます。



庭には多種の花木が植えられている

お客様の意見を参考にできると喜んでおられました。  
**今後の計画**  
今後、資金が集まれば、海外の人にも日本文化を感じてもらえるよう、いろいろや露天風呂を造り、「縁」の目玉商品にしたいと夢を語ってくれました。

**編集後記**

本町は、平年の積雪が数センチ程度だが、異常気象のせいかな今年1月には市街地でも30センチ以上、山間部は50センチを超えた。  
今までに記憶のない大雪が降り、交通に支障を来し回復するまでに4～5日を有した所もあった。  
さて、本年度から本格的に始まる越知町版総合戦略の全体計画が3月上旬議会に示された。

その中に、昨年議会から執行部へ提出した総合戦略の提言が数多く入っている。  
議会も責任を持って目標が達成できるように協力していかなければならないが、毎年精査をして本町が生き残れるように努めたい。

《高橋》

編集・発行責任者	議長 齋藤 政広
議会広報常任委員会	委員長 武智 龍
	副委員長 高橋 丈一
	委員 岡林 学
	委員 市原 静子
	委員 小田 範博

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。